※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文探究（文科）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし（学校設定科目につき）						
副教材等	「精選　論理国語」、「文学国語」（数研出版） 「意味から学ぶ頻出漢字 3000」（第一学習社）、「錬成現代文」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、評論、随筆、小説、短歌、俳句、詩などの作品を読みます。
①まず作品を楽しみましょう。自分の中の好奇心を育てましょう。
②作品を読みながら、我々が生きる現代社会の抱えるさまざまな問題、また自分が抱える問題をより良い方向へ進めていくのに重要な視点は何か、を考えましょう。
③筆者、級友、教員などの他者の考え、自分とは異なる考えに耳を傾けましょう。
④①～③を通して自分の考えを整理し、文章にしたり、他者に伝えたりする練習を重ねていきましょう。
⑤①～④を通して、自らの内面を豊かに耕し、生きていく糧の一つを手にしてほしいと考えています。

2　学習の到達目標

・評論文、小説、随筆などの読解力を伸ばす。
・文章の行間を読む能力を高め、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
・適宜文章を書き、それを発表することで、書く力や話す力を伸ばし言葉に対する感性を磨く。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実用文や韻文等、あらゆる現代の文章を読解するための知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や、行間を読み取り豊かに想像を広げる力を伸ばし、問題解決を意図して他者に自分の思いや考えを表現する力を養おうとしている。	言葉や文章に親しみ、生涯にわたって自ら学び自ら考える態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査	学ぶということ ［教材］ 「学問の発見」（広中平祐）	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	文学の扉～小説とはどのようなものか～ ［教材］ 「山月記」（中島敦） 「人虎伝」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[書]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c：人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	近代と現代の視点 ［教材］ 「未来世代への責任」（岩井克人） 「科学・技術の歴史の中での社会」（村上陽一郎）	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]：人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
前期期末考査	昭和初期の小説 ［教材］ 「山椒魚」（井伏鱒二）	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：考えを整理して山椒魚の考え方や行動に対する感想を述べ、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	情報と社会 ［教材］ 「弱いつながり」（東浩紀） 「疑似群衆の時代」（港千尋）	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	思考の枠組み ［教材］ 「『である』ことと『する』こと」（丸山真男）	a：推論の仕方について理解を深め使っている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。			
後期中間考査	大正の小説 ［教材］ 「こころ」（夏目漱石） 「現代日本の開化」	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	詩歌 ［教材］ 「小諸なる古城のほとり」（島崎藤村） 「永訣の朝」（宮沢賢治） 詩歌/俳句	a：心情の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：作者の心情を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	普遍的な言葉 ［教材］ 「国境を越える言葉」（長田弘）	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
後期期末考査	考えの表出 ［教材］ 「胆力について」（内田樹） 「日本語は非論理的か」（野矢茂樹） 「『いき』の美学」（尼ケ崎彬） 「空気」と「世間」・「世間」とは何か	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[書]：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c：課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	文学評論 ［教材］ 「文学のふるさと」（坂口安吾） 「演技する『私』」（安藤宏）	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間